

## はじめに

この度の東日本大震災および原発事故から1年9ヶ月が過ぎようとしています。被災されました皆様、避難生活を余儀なくされている皆様、さらには、平成23年7月新潟・福島豪雨により被災された皆様には一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

こうした中、当所においては、福島第1原発事故以降、加工食品や飲料水を対象とした放射性物質の検査を開始し、検査結果を迅速に県民に提供することで県民の食の安全と安心を確保すべく業務に取り組んでいます。

この他にも、多様化する行政ニーズに適切に対応するため、試験検査、調査研究、感染症の情報提供など様々な業務に日々励んでおります。また、今年は、近隣の小学生を対象とした体験学習を2年ぶりに行い、所の業務への理解と科学への興味を持ってもらうことができました。地方衛生研究所は、ややもすると住民に見えない存在となってしまうので、今後も開かれた研究所となりますよう、復興に向かって前進する本県のために所員一同全力で取り組んでいきたいと考えています。

ここに平成23年度の業務実績を「福島県衛生研究所年報第29号」として取りまとめました。内容をご覧ください、ご意見、ご提言を預ければ幸いです。日頃の当所の業務推進に対する関係機関の皆様のご協力に心からの感謝を申し上げますとともに、今後ともご支援を預けますようお願いいたします。

平成24年12月

福島県衛生研究所長 笹原 賢司